

学年・教科：5年 国語

単元名：あなたは どう考える

時	活動	成果・子どもたちの様子	備考
1	<p>教科書 p184 を音読する</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ どんな題材があるか 考える ☞ 関心あることから各自題材を決める ☞ どうしてそのような主張ができるのか 理湯を探す ☞ 根拠となる事例を探す ☞ 予想される反論を考える ☞ その反論に対する自分の意見を考える ☞ 最後にもう一度自分の主張を述べる <p>表現の説明として p187</p> <p>休み中に 自分の主張を padlet に載せる。</p> <p>クラスメイトが投稿した内容にコメントをつける。</p>	<p>世界で起こっていることに興味をもってくれた</p> <p>どんなことに対しても「自分の考え」を表現</p> <p>クラスメイトと全く違った考えの自分に気づく子もいた。</p> <p>意見が違くと休み時間には「討論」にまで発展していた</p>	<p>教科書に出ている表現の「定型」をつかいかなす。</p> <p>根拠の実例は調べた内容でも実体験でも可。</p> <p>つなぎ言葉は授業中に復習</p>
2	<p>休み明けに クラス全体で Padlet を見る</p> <p>各自 自分が投稿したものから 一つ選んで発表する</p> <p>その後質疑応答</p> <p>そして、クラスメイトからのメッセージカードをもらう</p>	<p>ペップトークに慣れているので、かならず「良い点」をみつけてくれる。そして、改善点も伝えている生徒もいる。</p>	<p>発表の順番は ルーレットを使う。</p> <p>メッセージカードには ペップトーク</p>
<p>伸ばせた力、子どもの変化、保護者の反応など</p> <p>休み中も 生徒同士が日本語で繋がりが続けることは 保護者にも好評。</p> <p>身の回りで起こっていることに常に気にしながら休みを過ごし、学校に戻ってから意見交換できた。</p>			
<p>所感</p> <p>日本語を使う機会を増やすのはアイデア次第でどうにでもなるが、なかなか一人ではできない。仲間がいるから学び続けられることを痛感した。</p>			